



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 東  
 コード番号 5970 URL <https://www.g-tekt.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 高尾 直宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 吉沢 勲 (TEL) 048-646-3400  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	160,939	5.6	10,205	△5.3	11,036	0.7	7,058	△3.2
29年3月期第3四半期	152,402	△6.7	10,779	22.0	10,963	44.3	7,289	52.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 9,949百万円 — 29年3月期第3四半期 △3,377百万円(△1,068.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	161.75	—
29年3月期第3四半期	167.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	218,579	127,420	52.7
29年3月期	208,584	119,340	51.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 115,133百万円 29年3月期 107,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
30年3月期	—	19.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	20.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	217,000	5.3	13,700	△4.9	14,500	0.5	9,800	1.0	224.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) G-TEKT Slovakia, s.r.o.、除外 1社(社名) —

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	43,931,260株	29年3月期	43,931,260株
30年3月期3Q	293,314株	29年3月期	297,672株
30年3月期3Q	43,636,682株	29年3月期3Q	43,630,800株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・四半期決算補足説明資料については、当社IR情報サイト(URL <https://www.g-tekt.jp/ir/index.html>)を併せてご参照ください。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示	5
3.	四半期連結財務諸表	6
	(1) 四半期連結貸借対照表	6
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
	(継続企業の前提に関する注記)	10
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
	(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、堅調な雇用・所得情勢を背景に、緩やかに景気が回復しました。

海外においては、米国では、雇用・所得の改善が見られ、景気が底堅さを維持し、欧州でも、緩やかに景気が拡大しました。中国では、高い経済成長率が維持され、新興国でも、インドで高成長軌道への回帰が見込まれるなど、総じて堅調となりました。

自動車業界においては、日本では、登録車・軽自動車ともに自動車販売が前年比で増加しました。海外では、北米は乗用車販売の減少傾向が続くものの、ライトトラックの販売が好調となり、堅調に推移しています。中国及びアジアの新興国でも、比較的堅調な状況が続いており、欧州では、SUVに対する需要が好調で、10年ぶりの高水準となりました。

このような経営環境の中、当社グループでは、欧州、中国で加速する電動車（EV）への対応も視野に入れて、軽量・高剛性ボディ加工技術の進化を進めてまいりました。

この取り組みの中心的な役割を担う技術開発拠点として、「ジーテクト東京ラボ（GTL）」の建設を国内で進めています（2018年4月1日稼働予定）。

自動車の先進地域である欧州では、次世代アルミボディ部品の受注拡大に向けた施策を推進しています。英国拠点では、新設する第4工場にアルミ部品の量産加工にも対応可能な設備を導入し、将来的にアルミ生産のマザー拠点としての役割を担うべく、加工実績やノウハウを蓄積してまいります（2019年1月稼働予定）。さらに、スロバキアでは、英国で取引がある欧州高級車メーカーからアルミ部品を受注したことに伴い、同国内に日系自動車部品メーカーとしては初の本格的なアルミボディ量産拠点である「G-TEKT Slovakia, s.r.o. (G-TES)」を設立し、稼働に向けた準備を進めています（2019年6月稼働予定）。

世界最大の自動車市場となった中国では、現地ニーズ及び市場の調査を主な任務とするリサーチオフィスである「G-TEKT Shanghai Representative Office (GSR)」を上海市に開設しました。あわせて、得意先からの受注拡大に対応するため、同国で5つ目となる工場を建設しています（2018年4月稼働予定）。欧州で先行するアルミボディ量産技術、そして、上海リサーチオフィスが収集する情報を活用して、中国市場での取引拡大に努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績については、型設備売上等の非量産売上が減少しましたが、中国・アジアの増産等による量産売上の増加に加え、為替換算の影響等により、売上高は160,939百万円（前年同期比5.6%増）となりました。利益につきましては、北米における製造費用の一時的な増加等により、営業利益は10,205百万円（前年同期比5.3%減）となりました。経常利益は、持分利益の改善及び為替差損の縮小等により、11,036百万円（前年同期比0.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、米国税制改革の影響などにより、7,058百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①日本

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	40,276	36,837	△3,438	△8.5%
営業利益	1,357	1,360	3	0.2%

売上高は、新型N-BOXの生産が好調となったものの、型設備・試作売上の減少等により、36,837百万円（前年同期比8.5%減）となりました。営業利益は、機種構成の変化等があったものの、原価低減の取り組みにより、前年並みの1,360百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

## ②北米

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	57,581	59,667	2,085	3.6%
営業利益	2,720	881	△1,838	△67.6%

売上高は、型設備売上が減少した一方、為替換算の影響等により増収となり、59,667百万円（前年同期比3.6%増）となりました。営業利益は、新機種立ち上りに伴い、一時的に労務費等の製造費用が増加したことにより、881百万円（前年同期比67.6%減）となりました。

## ③欧州

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	12,663	11,548	△1,114	△8.8%
営業利益	1,664	1,725	61	3.7%

売上高は、シビック及びジャガー向けの車種の増産により量産売上が増加した一方で、型設備売上が減少し、11,548百万円（前年同期比8.8%減）となりました。営業利益は、原価低減の取り組みにより、1,725百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

## ④アジア

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	26,306	28,993	2,686	10.2%
営業利益	3,142	3,074	△67	△2.2%

売上高は、型設備売上が減少した一方、アジア市場全体の生産が回復基調となり、量産売上が増加し、28,993百万円（前年同期比10.2%増）となりました。営業利益は、型設備売上の利益の減少等により、3,074百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

## ⑤中国

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	22,956	27,939	4,983	21.7%
営業利益	1,558	2,599	1,041	66.8%

売上高は、好調な生産により量産売上が増加し、27,939百万円（前年同期比21.7%増）となりました。営業利益は、増収効果及び原価低減の取り組みにより、2,599百万円（前年同期比66.8%増）となりました。

## ⑥南米

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	4,187	5,246	1,059	25.3%
営業利益	228	354	126	55.5%

売上高は、量産売上の増加及び為替換算の影響等により、5,246百万円（前年同期比25.3%増）となりました。営業利益は、増収効果及び為替換算の影響等により、354百万円（前年同期比55.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より9,995百万円増加し、218,579百万円となりました。これは主に、建設仮勘定の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より1,916百万円増加し、91,159百万円となりました。これは主に、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より8,079百万円増加し、127,420百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中国・欧州地域において計画を上回って売上が拡大したこと及び為替換算の影響などにより、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が当初予想を上回る見込みであり、通期の業績予想を修正いたしました。

なお、為替レートにつきましては、1米ドル110円、1元16.63円、1タイバーツ3.30円を前提としております。

詳細につきましては、本日（平成30年2月8日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間より、新たに設立したG-TEKT Slovakia, s. r. o. を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,606	19,505
受取手形及び売掛金	27,395	28,682
製品	857	1,130
仕掛品	14,141	15,503
原材料	2,555	2,512
貯蔵品	804	879
その他	5,475	6,599
流動資産合計	69,836	74,814
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,583	47,831
機械装置及び運搬具(純額)	38,375	36,648
工具、器具及び備品(純額)	17,771	16,935
土地	10,669	11,264
建設仮勘定	11,045	16,595
有形固定資産合計	125,446	129,275
無形固定資産	2,685	2,744
投資その他の資産		
投資有価証券	8,210	9,549
その他	2,405	2,196
投資その他の資産合計	10,616	11,745
固定資産合計	138,747	143,765
資産合計	208,584	218,579
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,086	19,733
短期借入金	13,670	16,792
1年内返済予定の長期借入金	8,241	11,024
未払金	7,914	6,647
未払法人税等	865	1,226
賞与引当金	1,066	1,215
その他	6,093	4,339
流動負債合計	55,938	60,980
固定負債		
長期借入金	24,927	22,110
退職給付に係る負債	1,579	1,583
役員株式給付引当金	246	344
その他	6,551	6,140
固定負債合計	33,304	30,179
負債合計	89,243	91,159



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,657	23,657
利益剰余金	68,625	74,069
自己株式	△358	△352
株主資本合計	96,581	102,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,095	2,384
繰延ヘッジ損益	△30	△27
為替換算調整勘定	8,952	10,897
退職給付に係る調整累計額	△183	△152
その他の包括利益累計額合計	10,833	13,102
非支配株主持分	11,925	12,287
純資産合計	119,340	127,420
負債純資産合計	208,584	218,579

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	152,402	160,939
売上原価	132,121	140,894
売上総利益	20,281	20,044
販売費及び一般管理費	9,501	9,839
営業利益	10,779	10,205
営業外収益		
受取利息	143	184
受取配当金	137	145
持分法による投資利益	565	903
その他	280	327
営業外収益合計	1,126	1,560
営業外費用		
支払利息	667	587
為替差損	226	81
その他	49	59
営業外費用合計	943	729
経常利益	10,963	11,036
特別利益		
固定資産売却益	20	14
投資有価証券売却益	79	—
特別利益合計	100	14
特別損失		
固定資産売却損	0	0
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	11,062	11,050
法人税等	3,058	3,753
四半期純利益	8,003	7,297
非支配株主に帰属する四半期純利益	714	238
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,289	7,058

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	8,003	7,297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	502	289
繰延ヘッジ損益	△185	2
為替換算調整勘定	△11,391	2,408
退職給付に係る調整額	58	31
持分法適用会社に対する持分相当額	△366	△79
その他の包括利益合計	△11,381	2,652
四半期包括利益	△3,377	9,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,526	9,326
非支配株主に係る四半期包括利益	148	622

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	30,655	57,002	12,482	25,810	22,263	4,187	152,402
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,620	579	181	495	692	—	11,569
計	40,276	57,581	12,663	26,306	22,956	4,187	163,972
セグメント利益	1,357	2,720	1,664	3,142	1,558	228	10,670

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,670
セグメント間取引消去等	109
四半期連結損益計算書の営業利益	10,779

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

- (1) 第1四半期連結会計期間において、重要性の増したG-TEKT(Deutschland) GmbH.を連結の範囲に含め、新たに「欧州」セグメントに加えております。
- (2) 第1四半期連結会計期間より、当社における原材料及び貯蔵品の評価方法を移動平均法及び最終仕入原価法から、それぞれ先入先出法に変更しております。

この変更による第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	29,804	59,188	11,207	28,723	26,771	5,243	160,939
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,033	478	341	269	1,168	3	9,294
計	36,837	59,667	11,548	28,993	27,939	5,246	170,233
セグメント利益	1,360	881	1,725	3,074	2,599	354	9,996

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,996
セグメント間取引消去等	208
四半期連結損益計算書の営業利益	10,205

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、新たに設立したG-TEKT Slovakia, s.r.o.を連結の範囲に含め、新たに「欧州」セグメントに加えております。

この変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響はありません。